

第三の政治的経済的闘争は、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第四の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第五の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第六の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第七の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第八の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第九の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第十の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第十一の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第十二の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

第十三の政治的経済的闘争は、労働組合の問題であるが、その本質からして、必ずしも、労働組合の問題ではない。

四 さうある。

かくて婦人労働者、特殊事情無産政党(又は婦人運動)等の闘争目標とおへきたと觀念的富有的考案され止まつて居る。従つて、所謂小政治闘争と經濟闘争と分離的であり独立的であつて金無産階級の政治闘争とはない。

(4) われくは政治と經濟との關係を分離的対立的^は後折衷的^は考へ
ておら^は何故あら^は政治は經濟の集中的表現^はある[】]からである。

労働組合を以て單なる經濟闘争の機關と見做すことは最も初期の組合^はつりには正常であつたが今日に於ては而^は單純なる機関でない従つて斯る見解は明かに組合主義の見地である。労働組合は所謂^は社